

DRV-353C

スタンダード ドライブレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルのため、海外で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



もしものときは！！

必要な録画/記録ファイルが上書きされないように
本機の電源をオフにしてmicroSDカードを
取り出してください。(→ P.30)

本機にmicroSDカードを挿入する前に、12ページの「microSDカードについて」をお読みください。

My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

安全上のご注意	4	イベント記録	38
本書の見かた	9	駐車録画	41
付属品	9	駐車録画機能をオンにする	43
使用上のご注意	10	手動で駐車モードを起動する	50
microSDカードについて	12	写真を撮影する(静止画記録)	51
各部の名称とはたらき	14	フォルダ/ファイル構成	52
操作ボタンとアイコンについて	16	再生する	54
取り付け/配線のしかた	19	ファイル選択画面のアイコン	54
取り付け時のご注意	19	ファイルを再生する	55
取り付ける	20	再生メニューの操作	58
接続する	22	設定を変更する	59
推奨取り付け位置	24	各機能の設定を変更する	59
車載電源ケーブルCA-DR250(別売品)		メニューの一覧	61
で接続する	26	LCD表示時間の設定を変更する	66
車載電源ケーブルCA-DR350(別売品)		microSDカードをフォーマットする	68
で接続する(駐車録画機能を使う場合の		パソコンツールを使う	70
接続方法)	28	インストールする	70
ご使用前に	30	録画ファイルの再生	70
microSDカードを入れる/取り出す	30	故障かなと思ったら	71
電源をオン/オフする	31	付録	77
日付および時刻を設定する	32	主な仕様	82
録画する・写真を撮影する	35	保証とアフターサービス	84
画質の種類	35		
録画・撮影画面のアイコン	36		
常時録画	37		

本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。



人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。



注意（しなければならない）の内容です。



禁止（してはいけない）の内容です。



実行（かならず行っていただく）の内容です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意 (必ずお読みください)

内蔵電池について (本機は充電式電池を内蔵しています)

危険



本機(内蔵電池)の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

取り付けや配線について



警告



本機はDC12V/24V⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V/24V⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車両の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術者が必要です。誤った取り付けや配線をするとう車両に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。



コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車両の電装品が正常に動作することを確認する

車両の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品やmicroSDカードは乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する

付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む

確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く

コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する

ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

⚠ 注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してシガープラグを抜いてください。事故や火災、感電の原因となります。

運転中は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車両を停車し、サイドブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

落としたら使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

本書の見かた

表記	説明
(→ P.30)	本書の参照するページを表しています。
「音声記録設定」	本機に表示されるメニュー名を表しています。
[決定 /REC]	本機のボタン名を表しています。
	手順の補足説明や制限事項について説明しています。
つづく	説明が次のページに続いていることを表しています。右ページのみに表示します。

- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 最新の取扱説明書やファームウェアのアップデート情報などについては、当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/> をご覧ください。

付属品

取付ブラケット
(両面テープ) x 1



microSDHC
カード x 1



16GB

シガープラグ
コード(3.5m) x 1



保証書 x 1



使用上のご注意

取り付けについて

- 誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付け/配線のしかた」(→ P.19)を参照して本機を正しく取り付けてください。

ご使用について

- もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画したmicroSDカードの映像を本機またはビューアーソフト「KENWOOD ROUTE WATCHER II」で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。(→ P.70)
- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- 車両のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- 本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機の側面にあるRESETボタンを先端が細い爪楊枝等で押します。電源が切れて、再度オンになります。(→ P.15)
- LED信号機の色が認識できなかつたり、ちらついたりする映像が記録される場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。

電源について

- 本機の動作電源電圧はDC5Vです。必ず付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR250/350(別売品)を取扱説明書にしたがって接続してください。ケーブルの改造(バッテリーに直接つなぐ)などは絶対に行わないでください。

衛星受信について

- GPSは、GPSの性能について全責任を負う、米国政府によって運営されています。
- 衛星信号は、固体物質(ガラスを除く)を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物(例えば、樹木、高架橋または高層ビル)などの影響を受ける可能性があります。

本機のお手入れ

- 本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。強くこすると傷の原因になります。
- ご使用前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、本機の固定に緩みがないことを確認してからご使用ください。

microSDカードについて

本機で使用するmicroSDカード

- 本機で使用できるのは下記のmicroSDカードです。

タイプ	microSDHC
容量	16GB ~ 32GB
スピードクラス	Class 10以上推奨
ファイルシステム	FAT32

- 本機にはmicroSDHCカード(16GB)が同梱されています。

当社推奨microSDカード

- ケンウッド製microSDHCメモリーカード(別売品)

詳細は以下をご覧ください。

http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option

microSDカード使用上のご注意

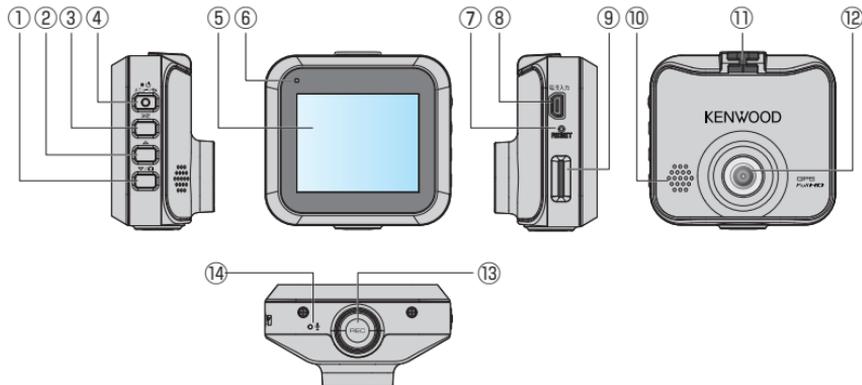
- 市販のmicroSDカードを使用するときは、microSDカードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。
- 16GB未満のmicroSDカードを使用する場合、記録が残らない場合があります。
- microSDカードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新しいmicroSDカードと交換することをお勧めします。
- microSDカードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- 本機はmicroSDカードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。そのため定期的な初期化は不要です。ただし、付属のmicroSDカードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。
- はじめて使用するmicroSDカード、また、パソコンなどでmicroSDカード内のファイルの変更や削除などをしたmicroSDカードを挿入するときは、microSDカードのフォーマット(初期化)が必要です。
- カメラなど、他の機器でmicroSDカードのフォーマット(初期化)を行うと、本機で正常に動作しません。microSDカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。フォーマットできないmicroSDカードは使用できません。

- 本機のデータ読み取りおよび書き込み速度は、microSDカードの仕様によって異なる場合があります。
- 分解や改造を行わないでください。
- microSDカードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温多湿の場所には放置しないでください。
- microSDカードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中にmicroSDカードを取り出さないでください。
- microSDカードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- 必要なファイルは必ずパソコンなどに保存(コピー)してください。
- microSDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードを着脱するときは、方向を確認し、折り曲げたり強い圧力や衝撃を与えたりしないでください。

ファイルについてのご注意

- microSDカード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存(コピー)してください。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードのフォーマットを行うと、保護したファイルを含むすべてのファイルが消去されます。
- 本機のmicroSDカードフォーマットや削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSDカード内のデータは完全に消去されません。
- 廃棄/譲渡の際は、microSDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってmicroSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- microSDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

各部の名称とはたらき



① [▼/📷] ボタン

録画中に押す

: 写真を撮影します。(駐車録画中、メニュー表示中など、画面にカメラアイコンが表示されていないときは写真を撮影できません) (→ P.51)

メニュー表示中に押す : カーソルを下に移動します。

再生中に押す : 次のファイルを再生します。

再生中に押し続ける : 早送りします。ボタンを離すと再生に戻ります。

② [▲] ボタン

メニュー表示中に押す : カーソルを上移動します。

再生中に押す : 前のファイルを再生します。

再生中に押し続ける : 早戻しします。ボタンを離すと再生に戻ります。

③ [決定] ボタン

録画中に押す : 「駐車モード設定」を「オン」に設定していると、「駐車モード」を起動します。

録画中に押し続ける : 画面表示をオフします。もう一度押すと画面表示がオンになります。

メニュー表示中に押す : 決定ボタンとして機能します。

再生中に押す : 再生メニューを表示します。(→ P.58)

④ [■○]/ [メニュー/↵] ボタン

録画中に押す : メニューを表示します。

メニュー表示中に押す : キャンセル、戻る、または終了ボタンとして機能します。

再生中に押す : 戻るボタンとして機能します。

2秒以上押し続けると電源をオフします。もう一度押すと電源がオンになります。

⑤ LCD画面

録画画面、再生画面、メニュー画面などを表示します。

⑥ インジケーター

点灯(緑) : 再生中、録画停止中、駐車録画待機中、メニュー表示中

交互点灯(緑/橙) : 録画中

⑦ RESETボタン

本機をリセット(再起動)します。(→ P.10)

RESETボタンを押しても、設定や録画・記録したファイルは消去されません。

⑧ 電源入力端子(DC5V)

付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR250/CA-DR350 (別売品)を接続します。(→ P.22)

⑨ microSDカードスロット

録画用のmicroSDカードを挿入します。(→ P.30)

microSDカードスロットにmicroSDカードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

⑩ スピーカー

音声ガイドや警告音、ファイル再生時の音声を出力します。

音量の設定については、「システム設定」の「システム音設定」と「音量設定」をご覧ください。(→ P.64)

⑪ 取付ブラケット挿入部

付属の取付ブラケットを取り付けます。(→ P.20)

⑫ カメラレンズ

映像を広角レンズで撮影します。

⑬ [REC]ボタン

押す : イベント記録を開始します。(→ P.40)

イベント記録中に押す : イベント記録を60秒延長します。

⑭ マイク

録画中の音声を収録します。

操作ボタンとアイコンについて

■ 操作ボタン

4つのボタンの機能を画面に表示されるアイコンで表しています。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。

録画画面の一例：常時録画



- ① メニュー画面を表示します。
- ② 「駐車モード」を起動します。
「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに表示します。
- ③ 写真を撮影します。

メニュー画面の一例



- ① 1つ前の画面に戻ります。
- ② 決定します。
- ③ カーソルを上に移動します。
- ④ カーソルを下に移動します。

カスタム文字設定画面



- ① 1つ前の画面に戻ります。
- ② 決定します。
- ③ カーソルを左に移動します。
- ④ カーソルを右に移動します。

設定方法については、63ページをご覧ください。

■ アイコン

本機の動作状態をアイコンで表します。

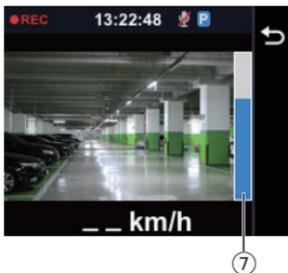
常時録画面



- ① 録画中に表示され、●(赤)が点滅します。
- ② 現在時刻を表示します。
- ③ 「音声記録設定」を「オフ」に設定したときに表示します。
「オン」に設定したときは表示しません。
- ④ 「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに表示します。
- ⑤ GPSの受信状態を示します。

アイコン	状態
	信号レベル: 3
	信号レベル: 2
	信号レベル: 1
	信号レベル: 0

駐車録画面



- ⑥ 現在の車速を表示します。
距離単位はメートル(km/h)またはマイル(mph)から選択できますが、表示を消すことはできません。
- ⑦ 「駐車モード」 — 「検出方法設定」の設定を「動作&衝撃検出」または「動作検出」にした場合の検出レベルを表示します。

取り付け/配線のしかた

取り付け時のご注意

- 運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 他の車載機器(安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど)に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないように取り付けてください。
- 車両のフロントガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えるにくくなり、衛星受信に影響を与える可能性があります。
- 取り付け後、車両電装品が正常に働くか、必ず動作確認を行ってください。
- 取り付け後、カメラレンズの保護シートをはがしてください。(→ P.23)
- ケーブル類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- ケーブルの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。
- 本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。
- フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げない位置(ルームミラーで隠れる位置)に取り付けてください。
- ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 車検証ラベルなどに重ならないように取り付けてください。
- ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなることがあります。

取り付ける

- 1 水平で安全な場所に車両を駐車する
- 2 取付ブラケットを本機のブラケット取り付け部に差し込む
フロントガラスに貼り付ける前に大まかな角度調整を行ってから取り付けてください。



- 取り付け方向を間違えると、正しい角度で本機を取り付けることができません。上の図のようにマークがLCD画面側になるように取付ブラケットを本機に取り付けてください。

- 3 本機の推奨取り付け位置(→ P.24)を参考にして本機取り付け位置を決める
- 4 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

5 取付ブラケットの両面テープのはくり紙をはがし、フロントガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付ける

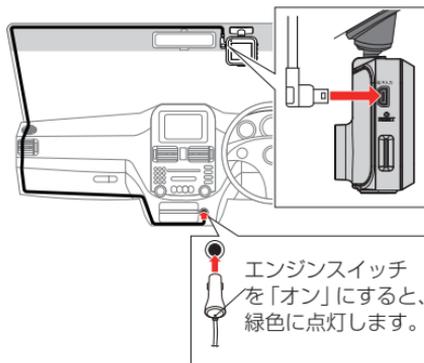
気泡が入らないように貼り付けてください。



- 両面テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後24時間以上放置してから使用してください。
- 一度はがした両面テープは再利用できません。

接続する

- 1 付属のシガープラグコードのプラグ側をアクセサリソケットに、電源コネクタ側を本機にそれぞれ接続し、配線する

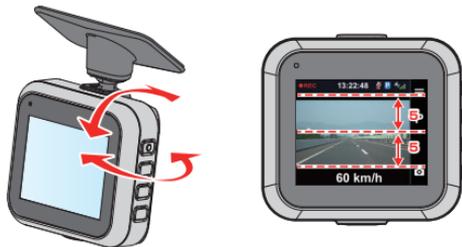


シガープラグコードには12Vから5Vに変換する回路が内蔵されています。シガープラグコードの改造、加工は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

- 2 エンジンスイッチを「オン」にする

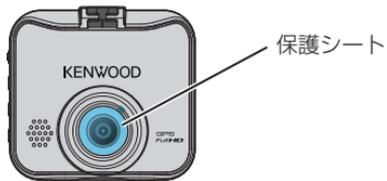
3 本機の角度を調整する

地上と空の比率が約5対5となることを推奨します。



* 写真はイメージです

4 カメラレンズの保護シートをはがす



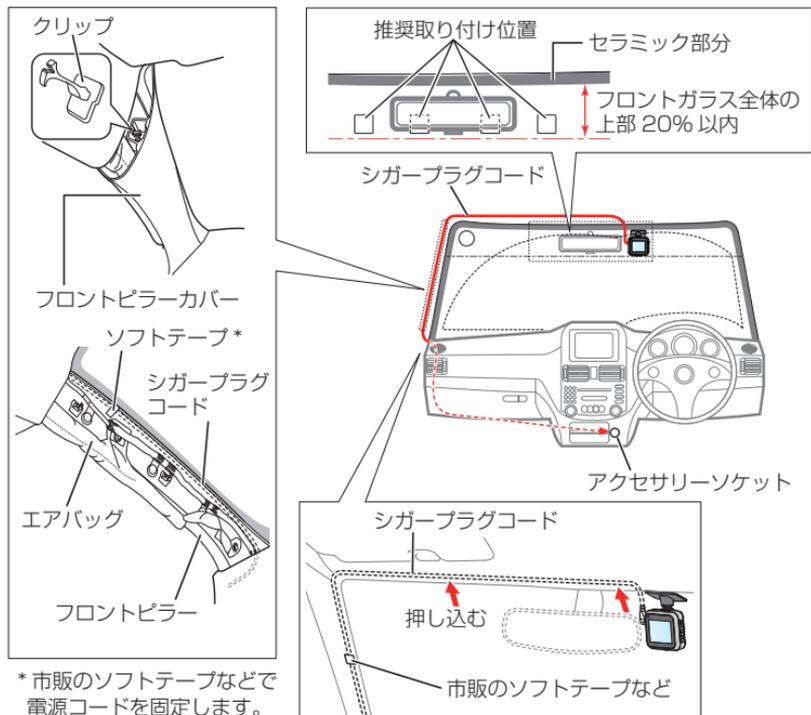
5 エンジンスイッチで電源を入れ直す

本機の角度調整を行ったときは、必ずエンジンスイッチで電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。

6 エンジンスイッチを「オフ」にする

推奨取り付け位置

シガープラグコードの配線の引き直しを行ってください。





- 国土交通省の定める保安基準*に適合するように取り付けてください。
*保安基準：道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)
- ケーブル・コード類は運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して取り付けてください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ケーブル・コード類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- 地デジやETC等のケーブル・コードといっしょに束ねないようにしてください。
- ケーブル・コードの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。

車載電源ケーブルCA-DR250 (別売品)で接続する

シガープラグコード(アクセサリソケット)を使用せずに接続できます。
CA-DR250 (別売品)では駐車録画機能は有効になりませんので、駐車録画機能を有効にしたい場合はCA-DR350 (別売品)で接続してください。(→ P.28)



- 接続をする前に車載電源ケーブルCA-DR250 (別売品)に付属の取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。

車載電源ケーブルCA-DR350 (別売品)で接続する (駐車録画機能を使う場合の接続方法)

CA-DR350 (別売品)で接続して、「駐車モード設定」を「オン」にすると、エンジンキーをオフ後に駐車録画機能が有効になります。(→ P.41)



- ・接続をする前に車載電源ケーブルCA-DR350 (別売品)に付属の取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」、「使用上のご注意」をよくお読みいただき安全に取り付けてください。
-

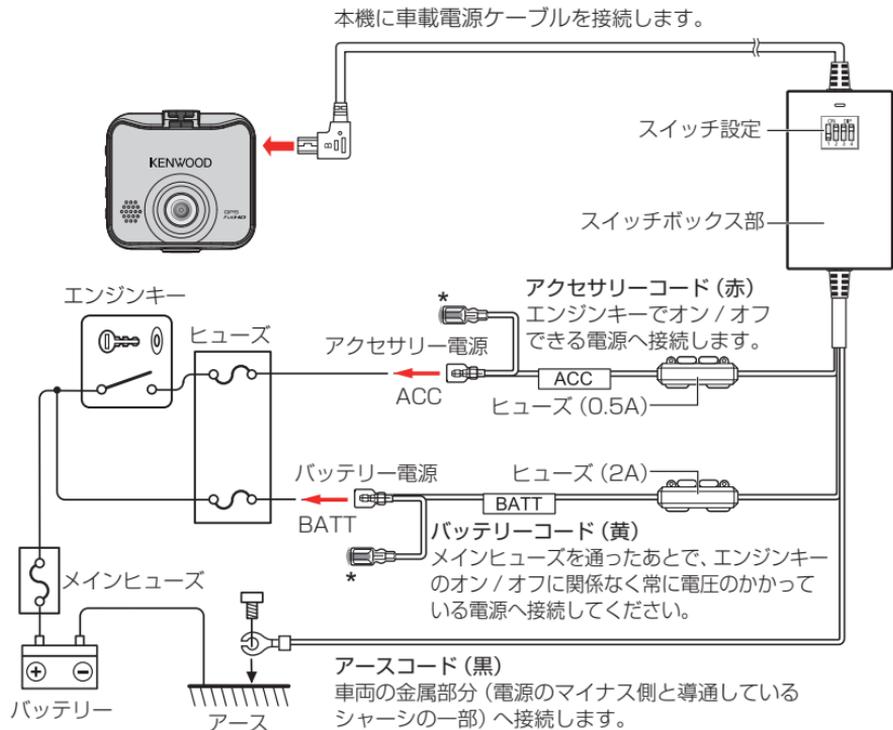
1 「電圧カットオフ値設定」と「オフタイマー設定」を行う

CA-DR350 (別売品)に付属の取扱説明書を参照して、「スイッチ設定」を行ってください。

ACC OFF後に駐車録画を行うためには、CA-DR350のオフタイマー設定を6時間、12時間または24時間にして下さい。

2 配線する

■ 配線のしかた(CA-DR350)



* アクセサリ/バッテリーコードが接続できます。
接続しない場合はキャップを外さないでください。

ご使用の前に

ご使用の前に、両面テープのはがれなどがいないか、定期的に点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

microSDカードを入れる/取り出す

microSDカードを出し入れするときは、データの破損・消失防止のため、microSDカードと通信をしていないメニュー表示中や電源オフ中に行ってください。

■ microSDカードを入れる

microSDカードをmicroSDカードスロットにカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



microSDHC ロゴのある面をレンズ側にして、端子面から挿入する

■ 間違った入れかた



斜めに挿入しない
端子面をレンズ側にしない
向きを間違えない



・microSDカードスロットにmicroSDカードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

■ microSDカードを取り出す

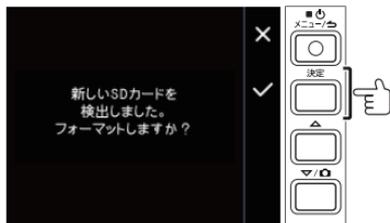
microSDカードを押して、microSDカードが少し飛び出したら引き抜きます。

■ microSDカードをフォーマットする

はじめて本機を使用するとき、または新しいmicroSDカードを使用するとき、microSDカードのフォーマット(初期化)が行われます。microSDカードを挿入すると「新しいSDカードを検出しました。フォーマットしますか?」と表示されます。

1 [決定] ボタンを押す

microSDカードがフォーマットされます。



電源をオン/オフする

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。エンジンスイッチを「オフ」にすると電源がオフになります(付属のシガープラグコードを使用した場合)。

■ 本機の電源を手動でオフにする

本機の電源がオンのときに[■ 〇]/ [メニュー / ⤴] ボタンを2秒以上押し続けると、電源がオフになります。

■ 本機の電源を手動でオンにする

本機の電源がオフのときに[■ 〇]/ [メニュー / ⤴] ボタンを押すと、電源がオンになります。



- エンジンスイッチがオフのときには手動で電源をオンにできません。

日付および時刻を設定する

本機は、GPSを搭載しています。GPS信号を受信すれば自動的に設定されます。お買い上げ時は「自動(衛星データ)」に設定されています。手動で設定する場合は、以下の手順で設定してください。

- 1 **[] / [メニュー / ] ボタンを押す**
メニューが表示されます。



- 2 **[] ボタンまたは [ / ] ボタンで「システム設定」を選択し、[決定] ボタンを押す**

選択したメニューが表示されます。



3 [▲]ボタンまたは[▼/⊕]ボタンで「日付/時刻設定」を選択し、[決定]ボタンを押す

選択した項目が表示されます。



4 [▲]ボタンまたは[▼/⊕]ボタンで「手動」を選択し、[決定]ボタンを押す 設定が変更されます。



- 5 [▲]ボタンまたは[▼/⏪]ボタンで「変更したい項目(年・月・日・時・分・秒)」を選択し、値を変更して[決定]ボタンを押す



- 6 変更が終了したら[▲]ボタンまたは[▼/⏪]ボタンで「秒」を選択し、[決定]ボタンを押す



録画する・写真を撮影する

本機には、電源オン時に「常時録画」、「イベント記録」、「イベント記録の手動録画」、「写真撮影」の録画機能があります。

車両のエンジン「オフ」時に「駐車録画」の機能があります。

音声を記録するかしないか、メニューの「音声記録設定」で選ぶこともできます。

(→ P.61)

画質の種類

解像度(画質)は「1080p」/「720p」から設定することができます。

お買い上げ時は「1080p」に設定されています。(→ P.62)

録画可能時間は解像度の設定によって変わります。(→ P.46)

「HDR」、「明るさ」の設定で、撮影するときの映像の状態を調整することもできます。

(→ P.63)



- 解像度の設定を変更するとき、microSDカードのフォーマットが必要になります。microSDカードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合は、解像度の設定を変更する前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。

録画・撮影画面のアイコン

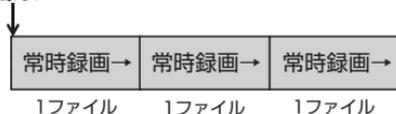


番号	表示	説明
①	●REC	録画中に表示され、●(赤)が点滅します。
②	時：分：秒	現在時刻を表示します。
③	音声記録オフ	「音声記録設定」を「オフ」に設定したときに表示します。
④	P	「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに表示します。
⑤	衛星受信状態	GPSの受信状態を表示します。
⑥	km/hまたはmph	選択した距離単位(→ P.64)で、現在の車速を表示します。
⑦	ボタンガイド	操作ボタンの機能を表示します。

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。常時録画は1ファイルごとの録画時間に分割して録画し、microSDカードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。
1ファイルごとの録画時間は1分です。

電源オン



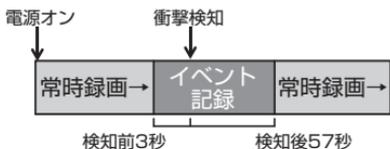
録画ファイルの保存場所

常時録画のファイルは、microSDカード内の「Video」フォルダに保存されます。
(→ P.52)

イベント記録

常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。衝撃を検知した時点の常時録画ファイルがイベント記録ファイルとして保存されます(常時録画のファイルとしては残りません)。

1ファイルの録画時間は最大60秒(衝撃検知前3秒と検知後57秒)です。イベント記録は手動で記録することもできます。



「イベント記録」が表示されます

録画ファイルの保存場所

イベント記録のファイルは、microSDカード内の「Event」フォルダに保存されます。
(→ P.52)

衝撃を検知する感度

お買い上げ時は「4」に設定されています。設定については、「録画設定」の「イベント感度設定」をご覧ください。
(→ P.63)



- イベント記録が記録されたとき、ファイルを保存しておきたい場合は上書きしないようにmicroSDカードをすぐに抜いてください。
- イベント記録が記録されたときは、イベント記録ファイルの後の常時録画ファイルにもイベント記録の映像が含まれていることがありますので、常時録画のファイルも必ずイベント記録ファイルと一緒に保存してください。
- 「Event」フォルダに保存されたファイルが最大数に到達すると、「ポロンポロン」と効果音で通知されます。また、録画領域がなくなると、「イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きをします。」が表示され、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

■ イベント記録を手動で開始する(手動録画)

常時録画中に[REC]ボタンを押すと、常時録画を中断してイベント記録を手動で開始します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。

1ファイルの録画時間は最大60秒(衝撃検知前3秒と検知後57秒)です。

イベント記録中に[REC]ボタンを押すと、イベント記録を60秒延長します。延長中にさらに[REC]ボタンを押すとイベント記録を60秒延長します。



「イベント記録」が表示されます



録画ファイルの保存場所

イベント記録の手動録画ファイルは、microSDカード内の「Event」フォルダに保存されます。

保存したい映像が「Event」フォルダに含まれていない場合は、直後に作成された「Video」フォルダも確認してください。(→ P.52)



- ・「Event」フォルダに保存されたファイルが最大数に到達すると、「ポロンポロン」と効果音で通知されます。また、録画領域がなくなると、「イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きをします。」が表示され、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

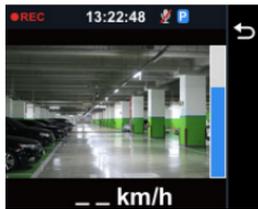
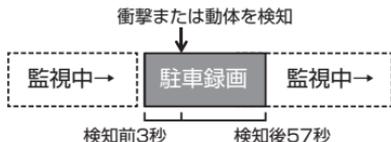
駐車録画

駐車録画機能を使用するには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR350（別売品）の電源接続とオフタイマー設定を6時間、12時間、または24時間にする必要があります。詳細はCA-DR350の取扱説明書を参照して下さい。

さらに、本機の「駐車モード設定」を「オン」にする必要があります（→ P.61）。

約5分間車両に振動が加わらなかった場合に、駐車モードの監視が始まります。駐車モードでは車両の衝撃および撮影範囲内の動体を監視します。監視中に車両への衝撃または動体を検知すると、駐車録画を開始します。

駐車録画ファイルの録画時間は最大60秒（検知前3秒と検知後57秒）です。



録画ファイルの保存場所

駐車録画のファイルは、microSDカード内の「Parking」フォルダに保存されます。
(→ P.52)

駐車録画が記録されたとき

駐車録画が記録されると、エンジンスイッチをオンにしたときに「駐車録画がありません」と音声で通知されます。

駐車録画が記録されてもCA-DR350のオフタイマー設定時間より前にエンジンスイッチをオンにしたときは「駐車録画があります」と音声で通知されません。

駐車録画は記録されていますので、駐車録画ファイルを確認して下さい。



- 駐車録画中に継続的に衝撃が加わった場合は、駐車モードから常時録画に切り替わります。その後、約5分間車両に振動が加わらなかった場合は、駐車モードの監視が再び始まります。
- 駐車モードの監視が始まるまでの約5分間は常時録画として録画されます。
- ドアを閉めたときの振動を検知して駐車録画が開始することがあります。
- 駐車モード中は電力消費を抑えるため、衛星受信を止めています。
- 車両のエンジンスイッチをオフにする前に、本機の[■0]/[メニュー/➤]ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合、駐車録画は動作しないことがあります。
- 録画領域がなくなると、録画ファイルは古いファイルから上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

駐車録画機能をオンにする

駐車録画機能をオンに設定するとき、途中で「記憶域の割り当て」の設定が必要になり、microSDカードのフォーマットを行います。保存したいファイルがあるときはパソコンなどにファイルを保存してから設定を行ってください。



- お買い上げ時は「LCD表示時間設定」が「常時表示」に設定されているので、駐車モード中も本機の画面が表示されたままになります。
画面をオフにしたい場合は、「LCD表示時間設定」を変更してください。
(→ P.66)

1 [■(電源)]/[メニュー/≡] ボタンを押す

メニューが表示されます。



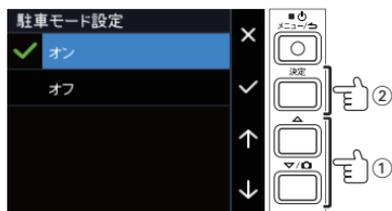
2 [▲] ボタンまたは[▼/📷] ボタンで「駐車モード」を選択し、[決定] ボタンを押す



3 [▲]ボタンまたは[▼/Ⓚ]ボタンで「駐車モード設定」を選択し、[決定]ボタンを押す



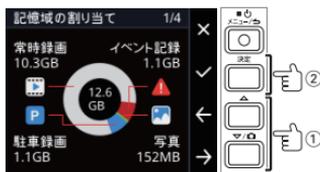
4 [▲]ボタンまたは[▼/Ⓚ]ボタンで「オン」を選択し、[決定]ボタンを押す



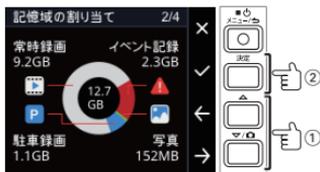
5 「駐車録画用の録画領域がありません。記憶域の割り当てを設定してください。」と表示されたら、[決定]ボタンを押す

- 6 [▲]ボタンまたは[▼/Ⓚ]ボタンで設定を選択し、[決定]ボタンを押す
お買い上げ時は「4/4」に設定されています。記録時間および写真撮影枚数の目安は、46ページをご覧ください。
記録時間および写真撮影枚数は、撮影するシーンによっては少なくなる場合があります。

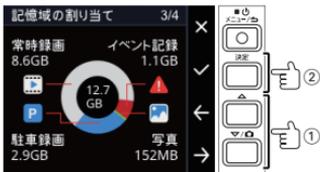
常時録画に容量を多く
割り当てる (1/4)



イベント記録に容量を多く
割り当てる (2/4)



駐車録画に容量を多く
割り当てる (3/4)



駐車モードを使用しない
(4/4)



- 「記憶域の割り当て」の設定変更は、メニューの「システム設定」-「記憶域の割り当て」から行います。(→ P.65)
- 割り当てを変更すると、microSDカードがフォーマットされるため、microSDカード内の録画ファイルが消去されます。設定を変更する前に必要な録画ファイルをパソコンなどに保存してから設定を変更してください。
- 写真の解像度は、メニューの「録画設定」-「解像度設定」で確認できます。(→ P.62)

7 「SDカードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか?」と表示されたら、[決定] ボタンを押す
フォーマットが開始され、「駐車モード」が「オン」に設定されます。

■ 録画時間の目安

記憶域の 割り当て	microSD カード 容量	解像度 設定	録画モード	常時録画	イベント 記録	駐車録画	写真
1/4 常時録画に 容量を多く 割り当てる	16GB	1080p	標準	約70分	約8分	約8分	約30枚
			長時間1	約141分	約16分	約16分	約30枚
			長時間2	約567分	約64分	約64分	約30枚
		720p	標準	約133分	約15分	約15分	約30枚
			長時間1	約266分	約30分	約30分	約30枚
			長時間2	約887分	約101分	約101分	約30枚
	32GB	1080p	標準	約142分	約16分	約16分	約61枚
			長時間1	約285分	約32分	約32分	約61枚
			長時間2	約1140分	約130分	約130分	約61枚
		720p	標準	約267分	約30分	約30分	約61枚
			長時間1	約534分	約61分	約61分	約61枚
			長時間2	約1781分	約203分	約203分	約61枚

記憶域の 割り当て	microSD カード 容量	解像度 設定	録画モード	常時録画	イベント 記録	駐車録画	写真
2/4 イベント記録に容量を多く割り当てる	16GB	1080p	標準	約62分	約16分	約8分	約30枚
			長時間1	約125分	約32分	約16分	約30枚
			長時間2	約502分	約129分	約64分	約30枚
		720p	標準	約117分	約30分	約15分	約30枚
			長時間1	約235分	約60分	約30分	約30枚
			長時間2	約785分	約202分	約101分	約30枚
	32GB	1080p	標準	約126分	約32分	約16分	約61枚
			長時間1	約252分	約65分	約32分	約61枚
			長時間2	約1009分	約260分	約130分	約61枚
		720p	標準	約236分	約61分	約30分	約61枚
			長時間1	約473分	約122分	約61分	約61枚
			長時間2	約1577分	約407分	約203分	約61枚

記憶域の割り当て	microSDカード容量	解像度設定	録画モード	常時録画	イベント記録	駐車録画	写真
3/4 駐車録画に容量を多く割り当てる	16GB	1080p	標準	約58分	約8分	約20分	約30枚
			長時間1	約117分	約16分	約40分	約30枚
			長時間2	約470分	約64分	約162分	約30枚
		720p	標準	約110分	約15分	約38分	約30枚
			長時間1	約220分	約30分	約76分	約30枚
			長時間2	約735分	約101分	約253分	約30枚
	32GB	1080p	標準	約118分	約16分	約40分	約61枚
			長時間1	約236分	約32分	約81分	約61枚
			長時間2	約944分	約130分	約325分	約61枚
		720p	標準	約221分	約30分	約76分	約61枚
			長時間1	約442分	約61分	約152分	約61枚
			長時間2	約1475分	約203分	約508分	約61枚

記憶域の 割り当て	microSD カード 容量	解像度 設定	録画モード	常時録画	イベント 記録	駐車録画	写真
4/4 駐車モードを 使用しない (お買い上 げ時の設定)	16GB	1080p	標準	約79分	約8分	—	約30枚
			長時間1	約158分	約16分	—	約30枚
			長時間2	約632分	約64分	—	約30枚
		720p	標準	約148分	約15分	—	約30枚
			長時間1	約296分	約30分	—	約30枚
			長時間2	約988分	約101分	—	約30枚
	32GB	1080p	標準	約158分	約16分	—	約61枚
			長時間1	約317分	約32分	—	約61枚
			長時間2	約1270分	約130分	—	約61枚
		720p	標準	約297分	約30分	—	約61枚
			長時間1	約595分	約61分	—	約61枚
			長時間2	約1984分	約203分	—	約61枚

手動で駐車モードを起動する

メニューで「駐車モード」→「駐車モード設定」を「オン」に設定されているときは、駐車モードを手動で起動することができます。

- 1 メニューで「駐車モード」→「駐車モード設定」を「オン」に設定する
- 2 [決定] ボタンを押す



■ 駐車モードを手動で解除する

駐車モード中に[■⏻]/[メニュー/➡]ボタンを押すと、駐車モードは以下のように動作します。

駐車録画が追加されているとき：

- ① 「駐車録画があります」と音声で通知され、「駐車録画を撮影しました。再生しますか?」と表示されます。
- ② メッセージ表示後、以下のようにそれぞれ動作します。
 - 5秒以内に[■⏻]/[メニュー/➡]ボタンを押す、またはそのままにしておく、「常時録画開始」と表示され、駐車モードを解除して常時録画を開始します。
 - 5秒以内に[決定]ボタンを押すと、駐車モードを解除して駐車録画ファイル選択画面が表示され、記録されたファイルを選択して再生できます。(→ P.56)

駐車録画が追加されていないとき：

①「駐車モードで待機中ですが、終了してもよろしいですか?」と表示されます。

②メッセージ表示後、以下のようにそれぞれ動作します。

- 5秒以内に[決定]ボタンを押すと、「常時録画開始」と表示され、駐車モードを解除して常時録画を開始します。
- 5秒以内に[■○]/[メニュー/↶]ボタンを押す、またはそのままにしておくと、再び駐車モードになります。

写真を撮影する(静止画記録)

録画中に[▼/○]ボタンを押すと、写真を撮影します。

記録領域がなくなると、古いファイルから自動で上書きされます。



写真の保存場所

写真は、microSDカード内の「Photo」フォルダに保存されます。(→ P.52)



- 録画中に写真を撮影しても録画は中断されません。
- メニュー表示中、駐車録画中などカメラアイコンが表示されていないときには写真を撮影できません。

写真の解像度

お買い上げ時は「1080p」に設定されています。設定については、「録画設定」の「解像度設定」をご覧ください。
(→ P.62)

フォルダ/ファイル構成

microSDカードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。

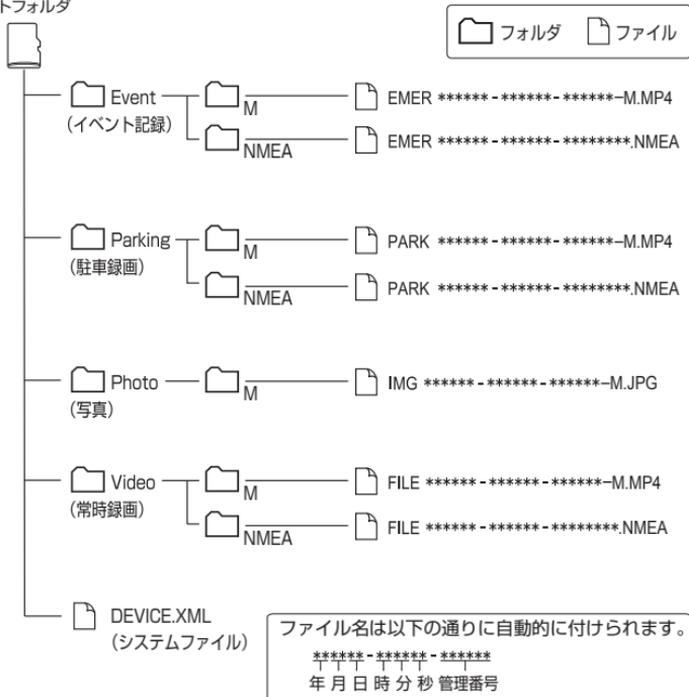
microSDカード内にあるファイル名をパソコンなどで変更しないでください。本機やKENWOOD ROUTE WATCHER IIで正しくファイルを再生できなくなります。

システムファイルには位置情報などが含まれています。システムファイルだけを削除するとファイルの位置情報が使用できなくなります。

microSDカード内のファイルにパソコンなどで以下の操作をしたmicroSDカードを本機に挿入すると、microSDカードのフォーマット(初期化)が必要になります。

- ファイルの削除
- ファイルの追加
- ファイル名の変更

ルートフォルダ



■ ファイル名の表記について

- GPSが正しく受信できないときのファイル名はGPSを最後に受信したときの日付と時間に近い表示になります。

再生する

ファイル選択画面のアイコン



番号	表示	説明
①	録画の種類	録画の種類を表示します。
②	ファイルの順番/ ファイル総数	録画ファイルの最新ファイルからの順番/ファイル総数を表示します。
③	年/月/日 時:分:秒	録画日時を表示します。
④		イベント記録のファイル
⑤	ボタンガイド	操作ボタンの機能を表示します。

ファイルを再生する

録画ファイルや写真ファイルなどのファイルを選択して再生します。

1 [■/○]/ [メニュー/≡] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2 [▲] ボタンまたは [▼/📷] ボタンで「ファイル再生」を選択し、[決定] ボタンを押す



3 [▲]ボタンまたは[▼/⏪]ボタンで再生したいフォルダを選択し、[決定]ボタンを押す



それぞれのフォルダには以下のファイルが保存されています。

常時録画	常時録画されたファイル
イベント記録	イベント記録されたファイルと手動で録画されたイベント記録のファイル
駐車録画	駐車録画されたファイル
写真	撮影した写真(静止画記録)のファイル

選択したフォルダ内にある最新のファイルがサムネイル表示されます。



- ファイルは、録画または撮影した時間順に並びます。

4 [▲]ボタンまたは[▼/📷]ボタンで再生したいファイルを選択し、[決定]ボタンを押す

選択したファイルの再生が始まります。



再生中に他のファイルを選択する	[▼/📷]ボタンを押すと次のファイルを、[▲]ボタンを押すと前のファイルを再生します。
早戻し/早送り	[▼/📷]ボタンを2秒以上押し続けると、早送りします。 [▲]ボタンを2秒以上押し続けると、早戻しします。 ボタンを離すと、再生に戻ります。

再生メニューの操作

- 1 ファイルの再生中に[決定]ボタンを押す
再生メニューが表示されます。



- 2 [▲]ボタンまたは[▼/⊞]ボタンで操作したい項目を選択し、[決定]ボタンを押す



再生メニューでは以下の操作ができます。

再生/一時停止	[決定]ボタンを押すと表示中のファイルを再生/一時停止します。 ※「写真」ファイルの再生中は表示されません。
削除	[決定]ボタンを押すと「削除しますか?」と表示されます。もう1度[決定]ボタンを押すと表示中のファイルが削除されます。

設定を変更する

各機能の設定を変更する

本機の設定を変更することができます。

- 1 **[]/ []** ボタンを押す
メニューが表示されます。



- 2 **[]** ボタンまたは **[/ ]** ボタンで設定を変更したいメニューを選択し、**[決定]** ボタンを押す
選択したメニューが表示されます。



3 [▲]ボタンまたは[▼/⏏]ボタンで設定を変更したい項目を選択し、[決定]ボタンを押す

選択した項目が表示されます。



4 [▲]ボタンまたは[▼/⏏]ボタンで設定を選択し、[決定]ボタンを押す 設定が変更されます。



各項目の内容については、「メニューの一覧」(→ P.61)をご覧ください。



- 常時録画に戻るには、[■⏏] / [メニュー / ⏏] ボタンを録画画面になるまで押します。

メニューの一覧

*お買い上げ時の設定

■ ファイル再生

項目	設定	説明
常時録画	-	フォルダを選択して目的のファイルを再生します。 また、ファイル再生中には、再生ファイルの一時停止、 削除を行うことができます(→ P.58)。
イベント記録		
駐車録画		
写真		

■ 音声記録設定

項目	設定	説明
音声記録設定	オン* オフ	録画時の音声記録機能の設定をします。

■ 駐車モード

「駐車モード設定」を「オン」にすると、「検出方法設定」、「自動起動設定」、「動作検出感度設定」、「衝撃検出感度設定」の設定ができます。

項目	設定	説明
駐車モード設定	オン オフ*	駐車モード機能を設定します。
検出方法設定	動作 & 衝撃検出* 衝撃検出 動作検出	駐車モードの録画記録を開始する検知方法を設定します。 衝撃検出：車両の衝撃を検知します。 動作検出：撮影範囲内の動体を検知します。 「動作 & 衝撃検出」または「動作検出」を選択すると、 検出レベルを表示します。検出レベルが最大になったときに録画を開始します。

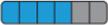
項目	設定	説明
自動起動設定	入りやすい 普通* 入りにくい 手動	駐車モードを自動で起動させるセンサー感度および駐車時の常時録画に戻るときのセンサー感度を設定します。 入りやすい：駐車モードが起動しやすいが、常時録画に戻りにくい 入りにくい：駐車モードが起動しにくい、常時録画に戻りやすい 手動：手動で駐車モードを起動するときに選びます。
動作検出感度設定	低 普通* 高	撮影範囲内の人や車両の動きなどを検知する感度を設定します。 低(検知しにくい) ↔ 高(検知しやすい)
衝撃検出感度設定	低 普通* 高	駐車モードのときに本機に加わる衝撃の感度：「低」(G値:0.4G)~「高」(G値:0.2G)を設定します。 低(検知しにくい) ↔ 高(検知しやすい)



- ・駐車録画機能を有効にするには、ドライブレコーダー用車載電源ケーブル CA-DR350 (別売品) の電源接続が必要になります。(→ P.28)

■ 録画設定

項目	設定	説明
解像度設定	1080p* 720p	常時録画/イベント記録/駐車録画/写真の画質を設定します。 ※設定を変更するときは、microSDカードのフォーマットが必要になります。microSDカードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。

項目	設定	説明
録画モード	標準* 長時間1 長時間2	録画時間を変更します。設定により、長時間の録画が可能になります。 録画時間の目安については、(→ P.46)をご覧ください。 ※「長時間1」または「長時間2」を選択すると、映像の動きがごちかなくなります。
HDR	オン* オフ	明暗差が大きなシーンでも白トビや黒つぶれを軽減する機能を設定します。
明るさ	-1..0*..1	記録される映像の露出(明るさ)レベルを設定します。
イベント感度設定	 低 高	イベント記録の衝撃検知の感度： 「低」(G値:3.0G)～「高」(G値:0.5G)を設定します。 低(検知しにくい) ↔ 高(検知しやすい)
情報記録設定	緯度/経度* Gセンサー値	録画ファイルに記録する情報(緯度/経度またはGセンサー値)を選択します。 記録された情報を削除することはできません。
速度情報表示	オン* オフ	録画ファイルに書き込む速度情報表示の設定をします。
カスタム文字設定	—	映像の右下に記録される文字を設定できます。 文字数は最大で12文字です。 [▲]ボタンまたは[▼/●]ボタン： カーソルが左右に1文字ずつ移動します。 [決定]ボタン： 選択中の文字を入力文字として確定します。 「OK」を選んで[決定]ボタンを押して終了します。

■ システム設定

項目	設定	説明
衛星受信状態	—	衛星信号の受信状態を表示します。
日付/時刻設定	自動(衛星データ)* 手動	「自動(衛星データ)」の場合は「タイムゾーン」が「GMT+09:00」に設定されています。そのままの設定でご使用ください。 「手動」は日付と時刻を手動で設定できます。 [▲]ボタンまたは[▼/📷]ボタンで数値を変更して[決定]ボタンで確定します。
システム音設定	オン* オフ	警告音およびボタン操作時の操作音を設定します。
音量設定		録画ファイルを再生するときの音量レベルを5段階(消音/1～5)で設定します。 警告音およびボタン操作時の操作音も変更されます。
LCD表示時間設定	常時表示* 情報表示 10秒 1分 3分	常時録画や駐車モード中に操作をしていないときの画面表示がオフになるまでの時間を設定します。 画面表示をオンにするには、本機のいずれかのボタンを押します。 「情報表示」は常時表示されます。ただし、駐車モード中の画面表示はオフになります。
言語	English 日本語*	表示する言語を設定します。 ※「English」に設定すると、音声ガイドも英語になります。
距離単位	メートル* マイル	速度の単位を設定します。

項目	設定	説明
記憶域の割り当て	1 / 4 2 / 4 3 / 4 4 / 4*	常時録画/イベント記録/駐車録画/写真を保存するための記憶領域を設定します。(→ P.46) 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから設定を変更してください。 ※変更するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
初期値に戻す	—	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻します。 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

フォーマット

説明
microSDカードをフォーマットします。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのファイルが消去されます。(→ P.68) 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。

LCD表示時間の設定を変更する

LCD表示時間の設定は「常時表示」、「情報表示」、「10秒」、「1分」、「3分」の5つから選択できます。

お買い上げ時は「常時表示」に設定されています。



- ・「常時表示」に設定すると、駐車モード中も画面が表示されたままになります。

1 [電源]/[メニュー/戻る]ボタンを押す

メニューが表示されます。



2 [▲]ボタンまたは[▼/カメラ]ボタンで「システム設定」を選択し、[決定]ボタンを押す



3 [▲]ボタンまたは[▼/⏏]ボタンで「LCD表示時間設定」を選択し、[決定]ボタンを押す



4 [▲]ボタンまたは[▼/⏏]ボタンで設定したい時間を選択し、[決定]ボタンを押す

LCD表示時間の設定が変更されます。



■ 情報表示画面

「情報表示」に設定した場合、常時録画は10秒後、イベント記録は録画終了後に情報表示画面に切り替わります。駐車モード中は10秒後に画面が消えます。



番号	表示	説明
①	●REC	録画中に表示され、●(赤)が点滅します。
②	年/月/日	カレンダーを表示します。
③	時:分:秒	現在時刻を表示します。
④	km/hまたはmph	現在の車速を表示します。

microSDカードをフォーマットする

microSDカードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合はフォーマットする前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。

1 [電源]/[メニュー/右] ボタンを押す

メニューが表示されます。



2 microSDカードをmicroSDカードスロットに入れる

3 [▲] ボタンまたは[▼/電源] ボタンで「フォーマット」を選択し、[決定] ボタンを押す



メッセージが表示されます。

4 [決定] ボタンを押す

microSDカードがフォーマットされます。



- フォーマットしても microSD カードエラーが表示され続ける場合は、新しい microSD カードと交換してください。

パソコンツールを使う

ビューアソフト(KENWOOD ROUTE WATCHER II)は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです

インストールする

インストールをするときはパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。

対応OS等の詳細は、<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>をご覧ください。

なお、本機ご購入時点に対応しているOSであっても、今後のWindows/MacのOS更新に伴い、対応外となる場合があります。

- 1 <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>で型名を選んでインストーラーをダウンロードする
- 2 パソコンにインストールする

録画ファイルの再生

- 1 microSDカードを本機から取り出し、カードリーダー(市販品)を使用してパソコンに接続する
- 2 KENWOOD ROUTE WATCHER IIを起動する



・KENWOOD ROUTE WATCHER IIの使いかたについては、KENWOOD ROUTE WATCHER IIの取扱説明書をご覧ください。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。「故障かな?と思ったら」と合わせてこちらもご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq>

■ 共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない/ シガープラグ コードのインジ ケーターが点灯 していない。 動作が不安定に なっている。	本機に電源が供給されていない。	シガープラグ側の差し込みと、本体側の差し込みを確認してください。(→ P.22)
	ヒューズが切れている	お買い上げの販売店にご相談ください。
	—	本体のRESETボタンを押してください。(→ P.10)

症状	原因	対処方法
microSDカードを認識しない。	microSDカードスロットにmicroSDカードが入っていない。	microSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。(→ P.30)
	本機で使用できないファイルシステムでフォーマットされたmicroSDカードが挿入された。	FAT32でフォーマットされたmicroSDカードをご使用ください。(→ P.12)
	microSDカードがフォーマットされていない。	フォーマットを行ってからご使用ください。(→ P.68)
	microSDカードの読み込み/書き込みができなくなっている。	microSDカードをフォーマットしてください。(→ P.68)
	フォーマットしてもmicroSDカードエラーが表示される。	それでも症状が改善しない場合は、microSDカードを交換してください。
録画ファイルが見つからない。	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた。	必要な録画ファイルをパソコンに保存してから録画を開始してください。
	本機で使用できる容量以外のmicroSDカードが挿入されたため録画ファイルが作成できない。	本機で使用できる容量(16GB~32GB)のmicroSDカードをご使用ください。(→ P.12)
録画されたファイルの映像が鮮明でない。	レンズが汚れている。	柔らかい布などで乾拭きしてください。
	カメラレンズの保護シートが貼られたまま録画された。	カメラレンズの保護シートをはがしてください。(→ P.23)
「ファイル再生」の選択画面で「  」が表示される。	何らかの原因で再生できないファイルが録画された。	必要なファイルをパソコン等に保存してからmicroSDカードを本機でフォーマットしてください。(→ P.68) それでも同じ表示が出る場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。

■ 駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない。	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR350を使用していない。	本機の駐車録画機能を有効にするには別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR350が必要です。CA-DR350を接続してください。(→ P.28)
	接続されたCA-DR350の「オフタイマー設定」がOFFになっている。	CA-DR350の取扱説明書を確認し、スイッチ設定を行ってください。
	「駐車モード」が「オン」になっていない。	「駐車モード設定」で駐車モードを「オン」にしてください。(→ P.61)
	「自動起動設定」が「手動」に設定されている。	「自動起動設定」を「手動」以外に設定するか(→ P.62)、駐車モードを手動で起動してください(→ P.50)。
	本機に記憶している取り付け位置情報が正しくないため、車両停止を検知できない。	正しい位置を記憶させるため、一度電源を入れ直してください。(→ P.31)
画面が表示されたままになっている。	「LCD表示時間設定」が「常時表示」に設定されている。	「LCD表示時間設定」を「常時表示」以外に設定してください。(→ P.66)
録画ファイルが見つからない。	駐車録画中に衝撃を複数回検知したため、常時録画に切り替わった。	録画ファイルは「Video」フォルダに保存されます。「Video」フォルダをご確認ください。(→ P.52)

症状	原因	対処方法
別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR350のタイマー設定時間より前に録画が終わっている。	車両のバッテリーの電圧が別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR350のバッテリー上がり防止設定値(電源カットオフ値設定)以下になった。	別売りのドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR350のタイマー時間設定を短くするか、バッテリー上がり防止設定値を下げてください。最小値まで下げても症状が改善されない場合、車両バッテリーの電圧が設定値電圧より低い可能性があります。車両販売店でバッテリーの電圧を確認してください。
渋滞などの低速走行中、駐車モードが起動してしまう(録画ファイルが、「Parking」フォルダに記録されている)。	「自動起動設定」を「入りやすい」に設定している。	「自動起動設定」を「入りにくい」に設定してください。(→ P.62)
走行を開始しても駐車モードが解除されず、常時録画にならない。	「自動起動設定」が「入りやすい」になっている。	「自動起動設定」を「入りにくい」に設定してください。(→ P.62)
駐車録画が記録されているのに音声通知されない。	ドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR350(別売品)のオフタイマー設定時間より前にエンジンスイッチをオンにした。(→ P.42)	

■ イベント記録

症状	原因	対処方法
車両に衝撃がないときにイベント記録の警告音が鳴り続けている。	<ul style="list-style-type: none"> 電源オン時のGセンサーの補正値が正しく設定されていない。 急な坂道を走行している。 正しい位置に取り付ける前に電源をオンにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 本機を正しい位置に取り付けてから電源をオフ/オンしてください。 平らな状態で電源を入れ直してください。 録画設定の「イベント感度設定」で衝撃検知の感度を下げてください。(→ P.63)
残したい映像が見つからない。	残したい映像がイベント記録時間に収まらなかった。	常時録画を保存しているフォルダから、イベント記録後に作成されたファイルを確認してください。

■ 時計

症状	原因	対処方法
時計がずれる	自動設定時、標準時間設定(タイムゾーン)がずれている。	標準時間設定を正しく設定してください。(→ P.64) 日本の「タイムゾーン」設定は、「GMT+09:00」です。

■ KENWOOD ROUTE WATCHER II

症状	原因	対処方法
KENWOOD ROUTE WATCHER IIが起動しない	管理者権限でのインストールをしていない	管理者権限でインストールしてご使用ください。(→ P.70)

■ 表示メッセージと音声ガイド

一部のメッセージは、液晶画面へのエラー表示だけでなく、音声でもお知らせします。

メッセージ	原因	対処方法
新しいSDカードを検出しました。フォーマットしますか？	microSDカードが認識できない形式でフォーマットされていない。	[決定]ボタンを押して、フォーマットを行ってください。
 音声ガイド 「SDカードの初期化が必要です」		
SDカードエラーです。フォーマットをお試しください。	認識できないmicroSDカードが挿入されている。	microSDカードを本機でフォーマットしてください。(→ P.68) フォーマットしても、同じ表示が出る場合は、新しいmicroSDカードを入れてください。(→ P.30)
 音声ガイド 「SDカードエラーです」		
SDカードが入っていません	microSDカードを入れていない状態で電源をオンにした。	microSDカードを入れてください。(→ P.30)
 音声ガイド 「SDカードがありません」		
他のSDカードを入れてください	microSDカードのデータが読めない。	新しいmicroSDカードを入れてください。(→ P.30)
衛星を受信できていません。	トンネルや建物の中にいる。または、悪天候や障害物の影響を受けているため、衛星の信号を受信できない。	障害物のない見通しの良いところで衛星の信号を受信できるか確認してください。(→ P.11)
駐車モードを開始するには、外部電源の接続が必要です。	付属のシガープラグコードで使用しているときに「駐車モード設定」が「オン」に設定されている。	駐車録画機能を使わない場合は、「駐車モード設定」を「オフ」に設定してください。駐車録画機能を使う場合は、ドライブレコーダー用車載電源ケーブルCA-DR350(別売品)が必要です。(→ P.28)

モニター画面について

- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

商標について

- microSDHC、microSDHCロゴはSD-3C LLCの商標です。
- Windows、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、OS Xは米国およびその他の国で登録された米国Apple, Inc.の商標です。
- Intel Coreは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。
- 本製品はAVC Patent Portfolio Licenseに基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
 - 2) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、またはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの）を再生する場合

ソフトウェアについて

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。

各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

libupnp

適用ライセンス：BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

Konatu Font

適用ライセンス：MIT License

Google Noto Font

適用ライセンス：SIL Open Font License 1.1

第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED

AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

Copyright (c) 2012 MASUDA mitiya

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT

NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

SIL Open Font License 1.1

Copyright 2018 The Noto Project Authors (github.com/googlei18n/noto-fonts)

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at: <http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 -
26
February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled,

redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

主な仕様

電源電圧

DC5.0V (12/24V車両用シガープラグコード付属)

録画時消費電流(最大)

520mA (1A)

測位衛星

GPS

Gセンサー

-3.0G ~ +3.0G : 6段階

液晶サイズ

2.0型 フルカラー TFT液晶

撮影素子

1/2.7型 フルカラー CMOS

最大記録画角

水平 : 約122° / 垂直 : 約63° / 対角 : 約150°

F値

F1.8

動作温度範囲

-10°C ~ +60°C

記録解像度(最大)

Full-HD (1920×1080) (動画最大約207万画素)

フレームレート

27.5fps/13.75fps/3.4375fps

記録方式

常時録画/イベント記録/手動録画/駐車録画*

*駐車録画は別売りの「CA-DR350」が必要

常時録画ファイル単位

1分

録画フォーマット(動画)

MP4 (H.264)

録画フォーマット(静止画)

JPEG準拠(最大 : 1920×1080)

記録映像再生方法

本体、もしくはWindows標準のWindows Media Playerなど

専用ビューアソフト対応*

(当社ホームページよりダウンロード)

*専用ビューアソフト以外での再生では、音声出力に対応していない場合があります。

記録メディア

microSDHCカード 16GB ~ 32GB

対応 Class 10 以上推奨

外形寸法(W)×(H)×(D)

(突起物除く)

W : 60.8mm/H : 58.1mm/

D : 33.9mm

ブラケット(テープ貼り付け)装着時高さ : 最大88mm

質量(重さ)

(ブラケット/ケーブル含まず、microSDHCカード含む)

66g

電源ケーブル長

3.5m (シガープラグコード)

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

■ システム更新について

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報やアップデート手順は、当社ホームページ<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/>をご覧ください。

保証とアフターサービス

■ 保証について

保証書

この製品には、保証書を添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日より1年です。

■ 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

・ホームページ

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

・JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など)/FAX 045-450-2308

(受付時間などは裏表紙を参照ください)

■ 修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.71)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
- 保証期間内外に関わらず。修理・点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜：9:30～18:00
土曜：9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
- 修理などアフターサービスについては、
当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または
JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。